

H25

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A		
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)		作成日	H25.4.1		更新日	H26.3.31
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	吉田 克夫		担当者	資産管理担当
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	公共施設の有効活用、適正配置及び市民の施設運営への参加促進等のため、各公共施設の目的や対象者、利用者数、稼働率及び運営コスト等について、共通の指標で比較検討できるような(仮称)公共施設白書を作成し、公開する。 また、そのためのデータ整理や公共施設の有効活用に利用できるシステムの導入についても検討する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	遅れている	先進都市の事例研究や自治体間の意見交換及び研究部会などに参加して情報収集						
平成24年度	計画どおり	遅れていたシステム導入も決定し、緊急雇用創出事業を活用し、システム導入及びデータ入力の準備が整った。						
平成25年度	実施	システムへのデータ投入						
平成26年度	実施	(仮称)公共施設白書の作成						
平成27年度	完了	(仮称)公共施設白書の公開 以降更新 営繕計画に反映						
成果指標	指標名	(仮称)公共施設白書の策定に向けたシステム構築の進捗状況				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	20	20	50	80	100	100	
	実績値	10	20	40			40	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎的データとして活用できる							

H25

## アクションプラン(平成25年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A	
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設白書の作成)	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	吉田 克夫	担当者	資産管理担当	
	区分	取組内容・目標					
平成25年度	実施	システムへのデータ投入					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	システムの運用の検討を図りながら、基本データを入力			○	○	○	
2	今後のFMの方向性を見据えて、追加入力データを検討・入力					○	○
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・公有財産台帳に登載されている基本データの入力を完了し、現在は営繕管理室保有の追加データの入力を開始している。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	(仮称)公共施設白書の策定に向けたシステム構築の進捗状況		計画値	単位 50	%	実績値 40
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	基本データの輸入はほぼ完了した。保全システムのバージョン変更に伴い、中長期保全計画に必要なデータ入力が遅れるが、新年度から中長期保全計画を稼働を目標に準備行為を行う。			
	進捗状況【活動】	遅れている					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	中長期保全計画に必要なデータ入力が遅れたこと、公共施設白書の作成には相当の期間を要することが分かったために計画変更した。		
計画値		無					
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	公共施設等の総合管理計画策定との整合を図り、進めること。			
	方向性	取組み強化					

H25

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業		作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課		責任者	小宮山 勉	担当者	産業政策・労政担当	
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減							
最終目標	勤労会館施設管理運営事業費を一般財源ベースで対平成23年度当初予算比20%を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	進んでいる	利用促進を図るとともに、勤労会館のあり方をまとめた。						
平成24年度	計画どおり	開館時間の見直しを行い、維持管理経費の削減に努めた。						
平成25年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。26年度予算で対23年度当初予算比15パーセント程度削減。						
平成26年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを行う。27年度予算で対23年度当初予算比20パーセント程度削減。						
平成27年度	完了	開館時間の見直し、パソコンシステム借上げの見直しを継続する。						
成果指標	指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費				単位	千円	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	6,062	6,062	5,153	4,850	4,850	4,850	
	実績値	6,075	5,399	4,468				
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13	663	1,594			2,244
	計	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636
		実績額	△ 13	663	1,594	0	0	2,244
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H25

## アクションプラン(平成25年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課	責任者	小宮山 勉	担当者	産業政策・労政担当	
	区分	取組内容・目標					
平成25年度	実施	23年度検討に基づき、開館時間の見直し、パソコンシステム借り上げの見直しを行う。 26年度予算で対23年度当初予算比15パーセント程度削減。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	勤労会館使用料の見直し			○	○	○	○
2	パソコンルーム見直しの検討			○			
3	開館時間の見直し			○	○	○	○
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	1.使用料の見直しについては、施設の今後のあり方を含めて検討中。 2. パソコンルームについては、パソコンの長期賃貸借契約の終了、利用人数の減等総合的に判断し、今年度をもって廃止する。 3. 開館時間については、利用の少ない水曜日、日曜日の夜間を閉館し運営をおこなっている。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費		計画値	単位 千円 5,153	実績値	単位 千円 4,468
	達成状況【成果】	達成	コメント	勤労会館の運営については、貸し館業務の廃止を含めた施設の有効活用策を検討し更なる維持管理費の削減に努めていく。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	大竹 正祥	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	勤労会館の稼働率からして施設の役目は終了しているものと思われる。今後は会館の廃止、その後の施設の有効活用策について検討していくことが必要。			
	方向性	内容見直し					

H25

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策		作成日	H25.4.1			
担当部署	140400	都市部 住宅課		責任者	渡末 充章			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	市営住宅の耐久性の向上及び機能の向上を図る改善を実施することにより建物の長寿命化を図る。 特に経年劣化の激しい外壁，屋上防水部材に関しては，グレードアップ等による耐久性を向上させることにより修繕周期の延長によるライフサイクルコストの縮減を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	計画どおり	市営逆井団地14号棟外壁塗装，防水改修工事，その他工事						
平成24年度	計画どおり	北柏D棟について外壁塗装工事，屋上防水改修工事，その他工事を実施し，建物の長寿命化を図った。						
平成25年度	実施	北柏C棟外壁塗装，防水改修工事，その他工事						
平成26年度	実施	市営塚崎団地1・2号棟外壁塗装，屋根改修工事，その他工事						
平成27年度	完了	市営塚崎団地3・4号棟外壁塗装，屋根改修工事，その他工事						
成果指標	指標名	老朽化対策工事实施棟数				単位	棟	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	1	1	1	2	2	7	
	実績値	1	1	1				
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
		実績額	1,400	3,300	5,700			10,400
	計	計画額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
		実績額	1,400	3,300	5,700	0	0	10,400
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H25

## アクションプラン(平成25年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	140400	都市部 住宅課	責任者	渡末 充章	担当者	市営住宅担当			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	北柏C棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	外壁塗装工事, 屋上防水改修工事等に関する設計図書作成			○	○				
2	外壁塗装工事, 屋上防水改修工事等の入札				○	○			
3	外壁塗装工事, 屋上防水改修工事等の実施					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	工事等に関する図書が完成し, 施工業者が決定し工事着手された。				
進捗・実績									
		成果指標名	老朽化対策工事実施棟数	計画値	単位	棟	実績値	単位	棟
					1		1		
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	予定通り工事が実施された。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
	計画値		無						
評価	評価者	鈴木 正明	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	市営住宅の中には, 建築後50年を経過したものもあり, 設備が耐用年数を超え, 事故を起こす可能性があるものも存在すると予測される。建築設備についても, 改修計画をたて, 改修を計画的に行なうことが求められる。					
	方向性	継続実施							

H25

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	歳出削減						
最終目標	平成19年度から平成23年度に橋梁データの収集を行い、平成24年度には、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。橋梁長寿命化修繕計画策定により、対症的な修繕から予防保全的な修繕を実施し、損傷顕在化の前に対策を講じ、事後的な修繕や架替えに比較して維持管理コストの縮減及び予算の平準化を図る。 平成25年度からは、修繕対策の優先順位付けに基づき修繕工事を行うが、併せて国庫補助を受け市の財政支出の抑制を図る。 ※なお、計画策定時に予算の縮減・平準化の試算を行うため、現時点での計画額の表記は不可能である。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	橋梁超寿命化修繕計画の策定に向けての橋梁データ整備を実施する。					
平成24年度	計画どおり	橋梁長寿命化修繕計画の策定					
平成25年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成26年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
平成27年度	完了	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
成果指標	指標名	橋梁データ収集・維持補修				単位	橋
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	38	176	6	4	5	
	実績値	38	176	0			
効果額	歳入増加	計画額			橋梁長寿命化修繕計画は、軽微な損傷の状態を補修することにより、橋の使用年数を延ばし、莫大な架		0
		実績額			け替え費用を削減させることを目的に行っていくもの		0
	歳出削減	計画額			です。そのため、点検・メンテナンスを繰り返すことで		0
		実績額			橋の延命を図って行きますので、単年度における歳		0
	計	計画額	0	0	出削減効果を算出することは出来ません。		0
		実績額	0	0			0
見込まれる その他効果 (金額以外)	橋梁データ収集	H23までの橋梁データを基に、全橋梁176橋の策定計画を実施	・予防保全型の対策による橋梁の延命化 ・不測の事故や苦情等の減少				

H25

## アクションプラン(平成25年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	120100	土木部 道路維持管理課	責任者	後藤清	担当者	維持補修担当			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	八両野橋他5橋補修工事			○	○	○	○		
2	市道01069号線 外15路線(第三浜街道跨線道路橋 外15橋)の内3橋の実施設計			○	○	○	○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	橋梁下の管理機関との協議に不測の時間を要しているため、スケジュールに若干の遅れが出ている。 また、協議の中で、八両野橋他5橋補修工事については、協定締結相手となるNEXCO東日本の内部協議に時間を要することから、今年度は柏市管理部分だけの工事を実施し、次年度以降に残りの部分を行うことで進めている。				
進捗・実績									
		成果指標名	橋梁データ収集・維持補修	計画値	単位	橋	実績値	単位	橋
					6		0		
	年度末	達成状況【成果】	一部達成	コメント	八両野橋他5橋補修工事については、協定締結相手となるNEXCO東日本の内部協議に時間を要したことから、柏市管理部分だけの補修工事を実施して完了させた。また、NEXCO東日本が管理する橋梁下については、次年度の計画分と合わせ実施する。				
		進捗状況【活動】	遅れている		市道01069号線 外15路線(第三浜街道跨線道路橋 外15橋)の内3橋の実施設計については、JRに多くの自治体から道路ストック総点検の問い合わせが集中し、JRからの協議回答に不測の日数を要したため、今年度は、1次点検を実施して完了させた。また、2次点検・詳細設計については、次年度に実施する。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	平成26年度に実施する計画であった補修工事4橋に、一部未完了の八両野橋他5橋分を合わせ10橋に変更する。			
		計画値	有						
評価	評価者	石井 健三	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	長寿命化修繕計画に沿って、事業費の平準化と縮減に努めること。また着実な事業実施に向けたスケジュール管理の徹底を図ること。					
	方向性	継続実施							

H25

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化		作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館		責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬	
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	中央公民館がある教育福祉会館は、昭和56年の新耐震基準以前に設計されている。この耐震性の問題に加えて建築後31年を経過しており、経年による老朽化が著しく進行しているため、総合計画の後期基本計画の中で、耐震改修とリニューアル工事を実施することとしている。市民の安全性や利便性、延命化を図るために行う耐震改修とリニューアル工事に併せて、照明設備のLED化など節電・省エネルギータイプのものに更新することにより、管理経費を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度	計画ど おり	美術サロンの一部をLED電球に切り替えや修繕経費の予算化、利用者に、節電への取り組みについて啓発等を行った。						
平成25年度	実施	公民館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕を行う際に、節電・省エネルギータイプのものに更新する。耐震改修実施設計委託に照明設備等の改修を含める。						
平成26年度	実施	公民館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕を行う際に、節電・省エネルギータイプのものに更新する。						
平成27年度	完了	耐震改修工事に併せて、施設の共有部分の照明設備等を節電・省エネルギータイプのものに更新する改修工事準備を行う。						
成果指標	指標名	電気使用量				単位	kwh	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		397,600	397,600	397,600	397,600	397,600	
	実績値		290,536	315,676			0	
効果額	歳入 増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出 削減	計画額		1,072	553	△ 613	553	1,565
		実績額		553	△ 601			△ 48
	計	計画額	0	1,072	553	△ 613	553	1,565
		実績額	0	553	△ 601	0	0	△ 48
見込まれる その他効果 (金額以外)			光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	照明等の設備に係るランニングコストや器具の交換寿命が延びることで経費節減が期待できる。		

H25

## アクションプラン(平成25年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館	責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	公民館内の老朽化した「照明設備」等の改修修繕を行う際に、節電・省エネルギータイプのものに更新する。耐震改修実施設計委託に照明設備等の改修を含める。							
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	教育福祉会館内の修繕を必要とする照明器具の現況把握, 更新等の対応			○					
2	修繕経費の見積り作成, 予算化				○				
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	市の節電計画に基づいて経費の節減を図っているが、設備の老朽化から不具合が起きているので、その都度対応している。 平成26年度からの耐震補強及び大規模改修工事実施設計業務委託の中の照明設備の改修計画について営繕管理室と協議を進めている。				
進捗・実績									
		成果指標名	電気使用量	計画値	単位	kwh	実績値	単位	kwh
						397,600			315,676
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	電気使用量は、平成22年度の約4/5に削減されたが、増加の傾向にある。 通路部分など共用部の照明は、自然の採光の状況により消灯実施、利用者に市の節電への取り組みなどを周知し、節電の協力について啓発を図ったが、今後も取り組みを継続し、より一層の節電に努める。				
		進捗状況【活動】	計画どおり		電気使用量の削減や経費の節減に向け、館内の老朽化した照明設備の改修修繕を行う際は、節電・省エネタイプのものに更新を継続する。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	藤江 美紀雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	施設の節電・省エネ化にあたっては、耐震改修工事の設備更新の計画と併せて、福祉関係部署との連絡調整のうえ利用者が安全・安心に利用できる環境を整えながら、対応されたい。					
	方向性	継続実施							